



あなたと結ぶ 議会情報誌

9月

定例議会

平成29年11月22日 発行

No. 158

最上町議会だより

議会新体制でスタート...2
ウエルネス特別委員会報告...3
一般特別決算・補正予算...4~10
一般質問...11~13
所管事務調査...14
請願・陳情 教えて議会...15
議会の動き 編集後記...16



最上町鉄道写真コンテスト 最上町長賞受賞写真
菅 富士男氏(鶴杉)撮影

議会新体制でスタート!!

町議会の構成が決まりました

9月1日の臨時会において、副議長 石原英一を始め各常任委員会等の委員の選任が行われスタートしました。



議長 菅 俊郎
副議長 石原 英一

総務文教常任委員会

委員長 菅 柁悦
副委員長 大沼 正視
委員 佐藤 義男
委員 二戸 守
委員 尾形 勝雄
委員 菅 俊郎

産業厚生常任委員会

委員長 渡邊 英俊
副委員長 宮本 浩
委員 伊藤 一雄
委員 佐澤 浩
委員 橋本 正
委員 石原 英一

議会運営委員会

委員長 二戸 守
副委員長 渡邊 英俊
委員 伊藤 一雄
委員 菅 柁悦
委員 石原 英一

議会広報編集委員会

委員長 二戸 守
副委員長 尾形 勝雄
委員 石原 英一
委員 佐澤 浩
委員 橋本 正
委員 宮本 浩

最上広域市町村圏事務組合議会

副議長 菅 俊郎
5月29日選任
議員 橋本 正

最上町監査委員（議会選出）

監査委員 佐藤 義男
9月6日選任

新たな「ウエルネスタウンもがみ」の創造に関する報告

特別委員長 佐藤 義男

この特別委員会は最初、持続可能な病院経営に向けた議論から入りました。今回、最上病院は医師や看護師不足、人口減少や少子高齢化に伴う外来患者数の減少や入院患者の長期化、山形県の地域医療構想などの問題・課題を抱える中で、医業収益の減収覚悟で10床削減の検討を重ねた結果、60床、1病棟制に移行しなければならなかった。今後、病院は入院期間の短縮。老健施設「やすらぎ」は在宅復帰率の向上が強く求められる。より信頼され、頼りにされる病院改革を断行するとともに、その改革が早く実を結ぶように、病院を取り巻く退院後の一時的居場所的な施設整備（陽だまりの家の活用等）や地域包括支援センターの機能強化を改革の両輪と位置付けていく必要がある。医師や看護師確保は持続可

能な病院経営を維持する上でも喫緊で最大の課題です。又、ウエルネスプラザ内の運営においても開設者と病院長の職務を明確にし、常に意思の疎通を図り、山積する問題解決に向けて共同責任を果たすべきである。今後共、医師や看護師不足は続くので、激務に見合った給与等の待遇改善のほか、より働きやすい環境づくりも図るべきである。

後半の特別委員会は健康寿命の延伸に向けて議論しました。全国の平均寿命と健康寿命の差は、男性が9・02年、女性は12・40年となっていて、当町も全国平均に近い数値となっている。健康寿命の延伸は医療費や介護費用の負担減少とともに町民一人ひとりの生活の質を向上させ、生涯をより豊かにすることにつながります。ウエルネスタウン構想のス

ローガン「健康な体、健康な心、健康な社会生活」は考えれば考えるほど町民一人ひとりの幸せを願うまちづくりそのものです。「健康な体」づくりを健康寿命の延伸に集約して「条例化」も視野に入れながら町民運動まで盛り上げていく。このスローガンの具現化こそがウエルネスタウン第二段階と位置付けるべきである。



平成28年度決算

12 会計決算認定

月定例議会

9 財政指標は「健全」しかし増える「借入金」!!



町民サービスに

一人あたり	290,300円
議会費	8,530万円
総務費	25億1,353万円

豊かな暮らしに

一人あたり	68,300円
農林水産費	3億4,975万円
商工費	2億6,196万円

安全な暮らしに

一人あたり	90,100円
労働費	806万円
土木費	5億3,854万円
消防費	2億2,234万円
災害復旧費	3,448万円
諸支出金	344万円

生きがいと健康に

一人あたり	226,100円
民生費	11億6,033万円
衛生費	8億6,325万円

人材育成と地域づくりに

一人あたり	76,000円
教育費	6億8,029万円

借入金返済に

一人あたり	59,600円
公債費	5億3,338万円

町の人口 平成29年3月31日現在によります。

支出決算総額 103 億 2,734 万円 一般会計支出 72 億 5,465 万円 特別会計支出 30 億 7,269 万円



NPO山と川の学校
「わんぱく学校」の子ども達の稲刈り

特別会計の支出額

水道・病院・介護老人保健施設会計は 企業会計のため、含んでいません。

国民健康保険会計	13億8,720万円	瀬見温泉管理会計	995万円
後期高齢者医療会計	9,930万円	農業集落排水会計	1,916万円
介護保険会計	11億3,821万円	下水道会計	1億8,683万円
簡易水道会計	1億6,796万円	浄化槽会計	6,408万円

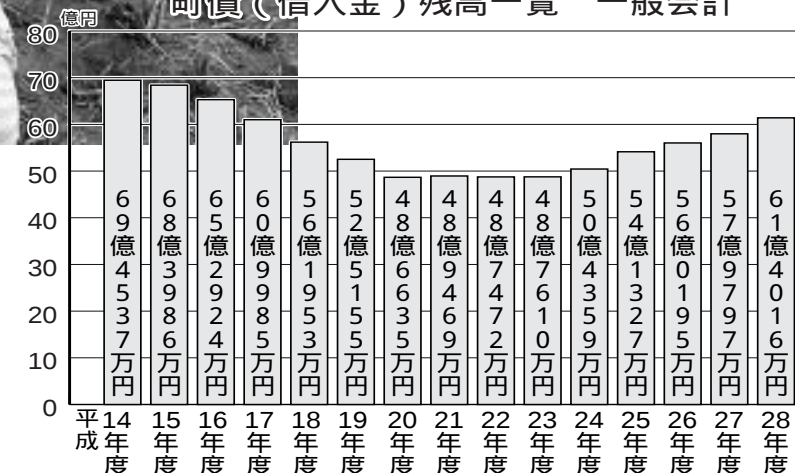
詳しくはP15の教えて議会へ

9月定例会は、5日から15日までの11日間で行われました。付託された議案、全件を慎重審議致しました。

また、平成28年度一般会計と特別会計あわせて12議案の決算審議は決算特別委員会に付託され、活発な質疑を経て慎重に審査した結果、認定されました。

尚、一般質問には3名が登壇し、町の施政と政策をたしました。

町債（借入金）残高一覧 一般会計



決算特別委員会 平成 28 年度

平成 28 年度一般会計決算から 11 の特別会計、合せて 12 件の決算認定案件を 9 月 12 日から 14 日までの 3 日間にわたり審査を行いました。

一般会計歳入総額は 75 億 6615 万円となり、前年度の決算額に対し 5 億 6023 万円、率にして 8.0% の増、歳出は 72 億 5465 万円で率にして 7.97% の増となりました。予算では 70 億円台でありましたが、町民の幸せのために行った政策の結果が前年度を大きく上回る決算額となったものです。特別会計においては、病院会計については設置者としての今後の役割、又病院を中心としたウエルネスプラザの今後の方向性について議論されました。

審査の結果、一般会計については賛成多数、特別会計については全員一致の賛成で可決致しました。
(決算特別委員長 菅 証悦)

■ 財政は健全か？

問 赤字額がなく、良好な状態だが、本当に大丈夫なのか？

答 健全化判断比率は、健全基準内ですが、実質公債費率、将来負担比率は若干悪くなっています。今後も選択と集中をしながら事業に取り組んでいきます。

■ 町の蓄えは？

問 町として自然災害などの有事の際に対する備えは、どのぐらいの積立金額が妥当なのか？

答 自然災害等の有事で 2 ～ 3 億円、突発的な施設修繕に 2 億円、次年度にすぐに使える分として 3 億円。全体で約 8 億円が適正な積立の範囲と考えています。

■ 高齢者世帯の除雪支援策は？

問 雪国の生活にやさしいまちづくり支援事業補助金の使い道は？

答 事業主体の社会福祉協議会に委託し、冬期間の高齢者世帯 5 戸分の間口除排雪を有償ボランティアに実施してもらいました。



高齢者宅の除雪ボランティア

問 補助金全体の金額を見ると、事業主体の人件費等の割合が高すぎるのではないかと？

答 平成 28 年度から始めたモデル事業でまだ完璧ではありませんが、予算の計上、事業の在り方を再度検討して取り組んでいきたいと思っています。

■ 女性の胃がん検診促進について

問 女性の胃がん死亡率が全国 344 区域の中で最上地区が日本一であり、県ではピロリ菌の検査、除去で 99% 以上防げると言われていますが、町でもすぐ検査をしては。

答 毎年のがん検診を基本に、ピロリ菌検査の普及を確実に進めて参ります。

■ 採草事業の取り組みについて

問 これからの前森牧場の運営についての考えは？

答 新たな経営方針として、採草の町外への販売や町外からの放牧牛の受け入れを検討し、オペレーター組織の結成と育成について取り組んでいきたい。

■ 今後の米政策

問 米の直接支払交付金が打ち切られますが、町独自の対応は？

答 近々、平成 30 年度の米政策に向けたブロック会議が開催されるので、その内容を受けて早急に農家への周知を図っていく。また、とも補償については継続・廃止も考えられるがいずれにしても大規模に水稻を頑張ってきた農家が不利益にならない策を講じていく。

■ 赤倉温泉スキー場経営営業強化

問 赤倉温泉スキー場の経営方針と営業強化についての考えは？

答 赤倉温泉スキー場は集客施設として、地域産業に大きな貢献をしています。経常的経費が収入を大きく上回っている



生活道路整備事業

■ 商工業の振興策

問 商工業の振興策の考えは？

状況が続いております。スキー競技の合宿をターゲットにした誘客にチャレンジするなどして、幅広い営業形態を探って参ります。

■ 生活道路整備事業

問 生活道路整備事業の実績は？

答 平成 28 年度は 6 件実施しており、今年度も 6 件予定しております。

■ 町営住宅の管理について

問 町営住宅長寿命化に関しての考えは？

答 絹出、赤倉の集合住宅については、既に大規模改修を終えておりますが、他の戸建て住宅については長



▲ 最上中学生 東京板橋区にて販売体験

寿命化計画により、屋根と外壁の補修を今年度から順次実施していきます。

■ 全国学力テスト

問 全国学力テストの結果を受けての考えは？

答 全国学力テストが実施されて 10 年ですが、学力上位県と下位県の差が縮まり平均化されてきました。順位は公表されていませんが、引き続き課題とされる算数・数学の学力向上に力を入れていきます。

議案審議 Q&A

平成29年度 一般会計・特別会計・補正予算 — 主な質疑の中から抜粋 —

■ 芸術文化活動

問 文化の町として芸術文化の活動やイベントを支援する補助金を創るべきではないか？

答 町としても財政支援の必要性は認識しているところですが、一律ではなくケースバイケースで、



▲ 最上町総合芸術文化祭展示作品

公益性を考慮しながら芸術文化の振興に努めていきます。

■ 消防団員被服配備

問 団員の被服等の配備は、あとのくらい残っているのか。

答 平成28年度から3年

計画で、新基準活動服に移行するもので、今年度も2年目の配備をしており、来年で完了となる予定であります。

■ 特定健診の受診率

問 特定健診の受診率と現状は？

答 40歳から74歳の国保加入者を対象に特定健診を実施していますが、受診率は45%です。特定健診受診者で生活習慣の改善などの特定保健指導が必要な人は増加傾向にあります。

■ 医師確保

問 これからの医師確保については？

答 現在、常勤の医師4名で業務を行っています。引き続き大学病院や県に要望しながら、地域医療

の魅力を研修医にも伝えて常勤医師の確保に繋げていきたいと考えています。

■ 温泉と健康づくり

問 温泉と健康づくりの連携は？

答 ただ温泉に入るだけでなく、たとえば運動をしないメタボの人向けにヘルシーな郷土食を食べ、運動をして温泉に入ると



健康づくり「足湯」

いう生活習慣の改善を組み合わせたツーリズムの場を提供することも考えています。

■ 戦没者追悼式

問 戦没者追悼式に子ど

■ 学校設置条例

問 統合後の月橋と萱場地区の生徒の通学方法はどうなるのか？

答 小学生と中学生の通学については、合わせて37人になることから、小学生に新たに配備します。

■ 赤倉温泉 湯けむり館整備

問 入湯客の想定は？

答 年間1200万円の運営費が必要と考えられている中で、入湯客を一日80人確保していくために今から、町内外にPRしながら誘客につなげていきます。

■ ふるさと納税PR

問 ふるさと納税の方々に対しての町のPRや状況報告をどの様にされて

いるのか？

答 ご寄付頂いた方には、お礼状と返礼品を送らせて頂いております。ホームページやふるさと納税サイトは町の活性化に有効な手段であり、コンソーシアムと協力し、しっかりと取り組んで参ります。

■ 若者定住環境 モデルタウン

問 モデルタウン広告料とモデル住宅の外構工事の内容は？

答 モデルタウンの更なるPRに資するため、子育て世帯に届けられる情報誌にも広告を掲載するものであります。モデル住宅外構工事は、モデル住宅にアプローチコンクリート等の工事を施すものです。



モデル住宅

■ 木質バイオマス 機械管理

問 ウエルネスタウン木質バイオマスの機械修繕の内容は？

答 冷暖房を行うに必要な循環ポンプの修繕等です。設置後10年を経過していることから経年劣化に伴う修繕が増えています。

■ 議案案件

全会一致で可決

■ 監査委員（1名）

任期 平成29年9月5日から平成31年8月31日まで
佐藤 義男氏（沢原）

■ 教育委員会委員（1名）

任期 平成29年10月1日から平成33年9月30日まで
白石 三三氏（前森）

■ 消防委員会委員（7名）

任期 平成29年10月1日から平成31年9月30日まで

富澤 秀好氏（本城）
二戸 孝芳氏（大堀）
大沼 正視氏（月橋）
須貝 英幸氏（本城）
田宮 秀記氏（向町）
尾形 勝雄氏（大堀）
中村 尚仁氏（新田）

■ 固定資産評価審査

委員会委員（1名）

任期 平成29年10月1日から平成32年9月30日まで
菅 利勝氏（法田下）



町政を問う

3 議員が一般質問

一般質問は、行政全般にわたる議員主導による政策議論であり、大所高所からの政策を建設的立場で議論し、効率的な会議運営が必要なことを十分理解し簡明で、しかも内容のある質問を展開するものです。

旧せんしん館を「健康づくり」拠点としての考えは

町長答弁 民間とのバランスを図り方向性を見出す



橋本 正 議員

質問 旧せんしん館を健康寿命の延伸を基調とするまちづくりの拠点となくべく施設の利用として健康増進施設としての位置づけを明確にし町民が広く赤倉温泉のお湯の効能を享受できる仕組みを模索し、新たな活用方法もしくは、相乗効果を生む施策を考えてはどうか。オーピング記念として例え、無料の30回綴りの券を配布し、この券は町営の温泉施設であればどこでも使えるという施策を考えてみてはいかがでしょう。

答弁 赤倉温泉のすべてが旅館が個別に源泉をもっており、多彩なお風呂を備えております。観光交流拠点施設については町民の利便性を考慮しつつも最上町内の各旅館への誘客につながる施設としたいと考えています。民間のサービスとのバランスを大切にし初期の目的の達成を図ることを当面の目標とし方向性を見出したいと考えております。町民が生涯現役で生活できる環境を作っていくことは最も重要なことでもあります。ご提示いただいた施策例を含め、今後の展開の

あり方について検討して参ります。

質問 「まちづくり基本条例」について伺いたいします。自治の再生が叫ばれているなか、橋町政が「協働のまちづくり」をにかけて15年が過ぎ町民の中にまだ浸透しきれていない感があるように思います。今、区長制度の見直し等を考えている様ですが、大局に「まちづくり基本条例」の必要性を強く考えますが、お伺いいたします。

答弁 客観的な視点に立って町民の皆様と行政を担う町との連携がまだ不足しているのではないかとお思いがあると推察するところです。現職の着任と共に町職員の集落担当制を導入しま



▲ 湯けむり館完成構想図

した。現在「地域づくり協働隊」として「集落将来ビジョン」の策定を目指す姿勢においても連携の形が表れて来ているものと考えます。自治のリーダーの皆さん自らの「部落区長設置条例の改定」や「まちづくり基本条例の制定」の要望は持続可能で次世代に資するまちづくりを支える基盤となるものと考えます。

除雪機械見学（真剣に機械の説明を聞く子どもたち）



■ 小学校 修繕について

問 各学校修繕費の内容は？

答 消防設備の点検に伴い感知器や警報機のバッテリー交換など、5校の消防設備の修繕と赤倉小

学校の時計塔の制御盤、大堀小学校の水飲み場の修繕になります。

■ 除雪修繕費

問 除雪修繕費は、なぜ今の時期の補正なのか？

答 除雪車については、

■ 高齢者運転免許 自主返納

問 高齢者運転免許自主返納促進事業の対象人数と実績は？

答 65歳以上の運転免許保有者は約1600人、自主返納者は昨年の7件から今年度は現在13件あります。

■ 地域公共交通

問 今後の地域公共交通体系については？

答 高齢者や町民の外出支援に関しては、専門のプロジェクトチームでの会議や遊佐町のデマンドタクシーの先進事例も視察しながら、現在検討を行っています。

■ 瀬見温泉共同浴場

問 設備工事の内容は？

答 浴槽からオーバードローする温泉と、身体を洗った温水の流下をより良く分離するための工事です。

問 なぜ今の段階での工



瀬見温泉共同浴場

事なのか。設計の段階で分かりきっていたことであり、設計会社に責任を求められないのか。

答 営業して1年以上を経過しており、色々意見を求めたり、相談に応じてもううにしても、責任を求める段階とまでは至っていないと判断しております。

町の政策課題の見出し方は？



町長答弁 現場主義をもって職員的能力開発に傾注

答弁

行政職員に求められるものは、

質問 行政の政策作りは、総合格闘技のようなもので効果的な手法を自在にくり出しながら目的を実現していくべきであります。こうした中で行政職員が、体得すべきは政策課題の発見力・設定力・実践力・コーディネート力等であります。

年々、高度化・複雑化、そして多様化しております。本町の「人材育成基本方針」では、目標とする職員像、「経営感覚を持ち、自ら学び、考え、行動する職員」と位置付け、それに向かうための基本姿勢を据えて、職員力の向上に努めております。職員の能力とは、「柔軟な発想で改革ができる力」や、「意欲的に挑戦と創造ができる力」そして「コミュニケーションとチームプレイの力」これらの力を身につけていただくことが、町民の思いと利益に繋がるものと、確信するものであります。こういった力は、机の上のOA器械と向き合っても醸成されません。職員自ら町民と対話を繰り返し、その情報を共



▲ 職場風景

災害に対する「備え」について

町長答弁

防災拠点施設の整備、地域防災のリーダーを育成し減災・防災に取り組む

質問

豪雨時の河川の氾濫を最小限に抑える為に河川内の支障木や堆積土を取り除くことを計画的にスピード感をもって取り組むべきでは？

答弁

当町の河川は、少し大きめの河川のほとんどが県管理による一級河川なので、県の許可がなければ取り除くことは出来ません。河川の危険箇所改善については、県とこれから協議を行い連携して減災に努めていきます。

質問

消防団の訓練も消火活動に対しての訓練が主で、水防団としての訓練は、主に土嚢作り訓練だけなのかと思います。水防団としての専門的な講習や訓練を今後取り入れることは検討されているのか？

答弁

現時点では考えておりませんでしたが、実際に水を使つての訓練は難しいですが、水の力の怖さを知ってもらうような機会も必要だと認識しています。

質問

大規模災害時各指定避難所に避難せざるを得ない場合の食料、飲料水の備蓄、生活必需品の調達は大丈夫なのか？

答弁

現在、町では一ヶ所にアルファ米や飲料水等を備蓄

質問

食料の備蓄量が少なくと感じるが？

答弁

備蓄の量に関しては、徐々に増やしていきたいと考えています。今後、食料等の備蓄目標数量をきめ、これから役場が隣接して整備する防災広場の備蓄倉庫の容量も検討していきます。

質問

人口減少の中で地域で助け合う「共助」の取り組みをどのようにして強化するのか？

答弁

共助の要となる自主防災組織の活性化、出前講座による防災啓発活動の促進、専門知識を持った防災士の人材育成支援を行い対応していきたいと考えています。

しています。備蓄できないものに関しては防災協定を結んでいる自治体や民間業者から提供してもらつています。防災協定を結んでいる自治体とは年に数回、支援内容の検討や研修会も実施しています。



黒沢地区防災運動会

○ 総務文教常任委員会 委員長 菅 征 悦

雇用の確立と若者定住対策について

現在、日本は就職氷河期世代が子どもを生み、あるいは壮年になってくる中で、困窮が全世代化している。それに対して現行制度は対処できていないのが現状であります。



これをどのように再構築していくかが、この町の現在、そして未来に向けた非常に大きな課題であります。そこで、雇用促進・若者定住対策について調査研究するものであります。

○ 産業厚生常任委員会 委員長 渡 邊 英 俊

交流人口拡大（100万人交流） 公設民営施設の経営力を調査・研究

今回の調査目的は交流人口の拡大であります。これまで町は、交流人口の拡大を目的に施策を展開し取り組んでこられたが、総論的なビジョンは数多くあるものの、目的が達成されるまでには至っていない現状であります。今年度、新しい交流拠点施設整備事業もはじまりました。その様な中、町が目指す交流人口100万人の目的を達成させるために、拠点施設の維持管理体制はどうあるべきか、調査、研究し、交流人口の拡大を目指すものであります。

【請 願】

件名及び要旨	請 願 者	紹介議員	所 管	結 果
「平成30年産以降の米政策の見直し」に関する件について	新庄もがみ農業協同組合 代表理事組合長 安食 賢一 新庄もがみ農協農政対策本部 本部長 安食 賢一	二戸 守	総務文教 常任委員会	採択
「地方財政の充実・強化を求める請願」について	連合山形新庄最上地域協議会 議 長 矢口 昌博	伊藤 一雄	総務文教 常任委員会	採択

【陳 情】

件名及び要旨	請 願 者	所 管	結 果
「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情	全国森林環境税創設促進議員連盟 会 長 板垣 一徳 (新潟市村上市議会議員)	産業厚生常任委員会	採択

議会傍聴

私は笹森サロンで初めての議会傍聴でした。サロンの仲間には私のように初めての方、もいて、席につき議会が始まりました。今回の一般質問者は3人でありました。

町長さんの答弁が質問と一部が合っていないように感じました。もう少し前向きな回答を期待しています。また行って聞いてみたい、という活発な議会を期待したいと皆さんと話しながら帰宅しました。

笹森サロン議会傍聴に思う

佐藤 喜代美



教えて議会!?

議会のしくみ、用語を分かりやすく解説!!

■ 町のお財布は、全部で12個!?

Q 町のお財布は一つじゃないの?

A 町のお財布の種類は大きく分けて「一般会計」と「特別会計」の2種類があります。一般会計は1個、特別会計は11個の財布があります。

Q なんで、分かれているのか?

A 特別会計とは、いわば町が行う事業の中で、入ってきたお金の使い道が決まっている事業です。事業毎に分けて管理することで、お金の流れを分かりやすくして経営の状況を見極める事が出来ます。



Q 特別会計って、どういったものがあるの?

A 最上町では「国民健康保険事業」「最上病院事業」「水道事業」「瀬見温泉事業」などです。



議 会 の 動 き



▲ 消防団操法大会（7/2 防災広場）



▲ 区長会役員と語る会（8/7 役場大会議室）



▲ 湯けむり館起工式（9/13 赤倉旧せんしん館）

【月毎の主な日程】 7月～9月の活動日数 56日

▼〔7月〕	
2日	消防団操法大会
3日	議会広報編集委員会
4日	町村議会広報全国研修会（～5日 全国町村議員会館）
7日	シルバー体育レクリエーション大会
12日	議会運営委員会 全員協議会 7月臨時議会
12日	十日町サロン 議員と語る会
13日	清水町老人クラブ西地区議員と語る会
14日	全員協議会
26日	明るいもがみ夏の安全町民集会
29日	最上町平和行進
31日	最上小国川流水型ダム建設促進協議会総会
▼〔8月〕	
1日	新たな「ウエルネスタウンもがみ」の創造に関する特別委員会（22日）
1日	民生児童委員との意見交換会
7日	全員協議会 区長連絡協議会役員との意見交換会
10日	議会広報編集委員会
14日	町内野球大会
16日	成人式 議会運営委員会
17～18日	夏の交通安全運動
21日	最上県勢懇話会
29日	議会運営委員会
▼〔9月〕	
1日	9月臨時議会 全員協議会（5日）
5日	9月定例議会（～15日） 全員協議会
13日	拠点施設整備工事起工式
15日	敬老フェスティバル
20日	最上地域奥羽新幹線整備実現同盟会 設立総会、セミナー
21日	議会広報編集委員会
23日	町民運動会
26日	秋の交通安全運動 街頭指導
27日	議会広報編集委員会
29日	ハッピーサポーター推進協議会意見交換会

誌面の都合上、主な行事より抜粋し掲載

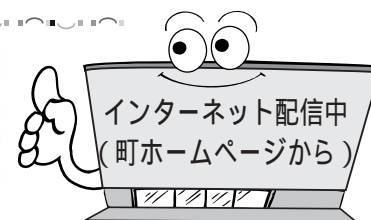
議会傍聴 へのおさそい

次回の定例会は 12/5 12/7です

お問い合わせは議会事務局まで ☎43-2362



QRコード



編集後記

9月定例会が11日間の日程で開会され、9月決算議会は次年度につながる参考書である」と言われています。議会だよりの編集集中に衆議院解散の報道が流れて、町民生活への影響を心配しました。議員として、しっかりと町の検証を行い、町民と議会を結び情報誌として「知りたい情報・伝えたい情報」をお伝えして参ります。（尾形勝雄）



【発行責任者】 議長 菅 俊郎
 【広報編集委員会】
 委員長 二戸 守
 副委員長 尾形勝雄
 委員 石原英一
 佐澤 浩
 橋本 正
 宮本 浩